

平成28年度第4回 I C T利活用教育の  
推進に関する事業改善検討委員会

平成29年3月15日（水）

佐賀県教育委員会

## 議事次第

### I 開 会

### II 報 告

- ・セキュリティ対策に関することについて（教育総務課）

### III 協 議

#### 1 生徒・保護者の必要性・効果の認識等について

- (1) 満足度調査、教職員の意識調査について

- (2) 今年度の取組について

#### 2 今年度のまとめ

### IV 事務連絡

### V 閉 会

生徒・保護者の必要性・効果の認識等について

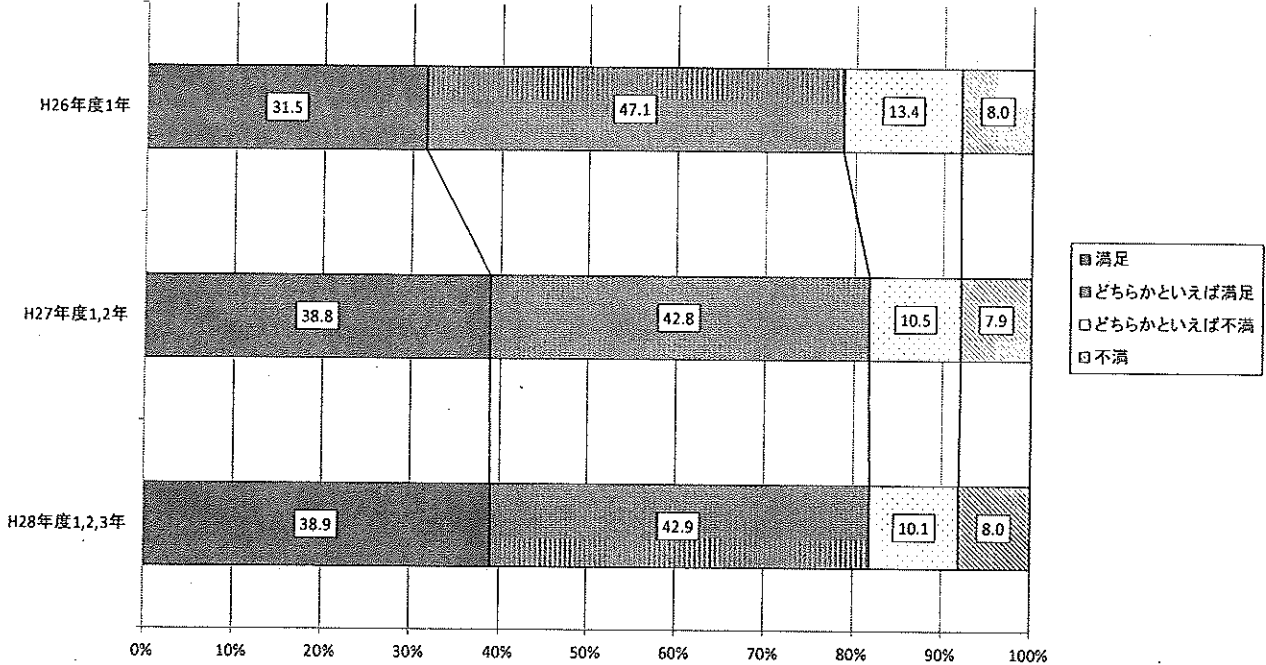
ICTを利用した授業の満足度(生徒)

平成26年度～平成28年度

【問】 ICTを利活用した各教科の授業に満足していますか。

調査時期: H27年3月末、H28年3月末、H29年2月末

回答者数: H26年度 6,050人、H27年度 12,063人、H28年度 18,244人

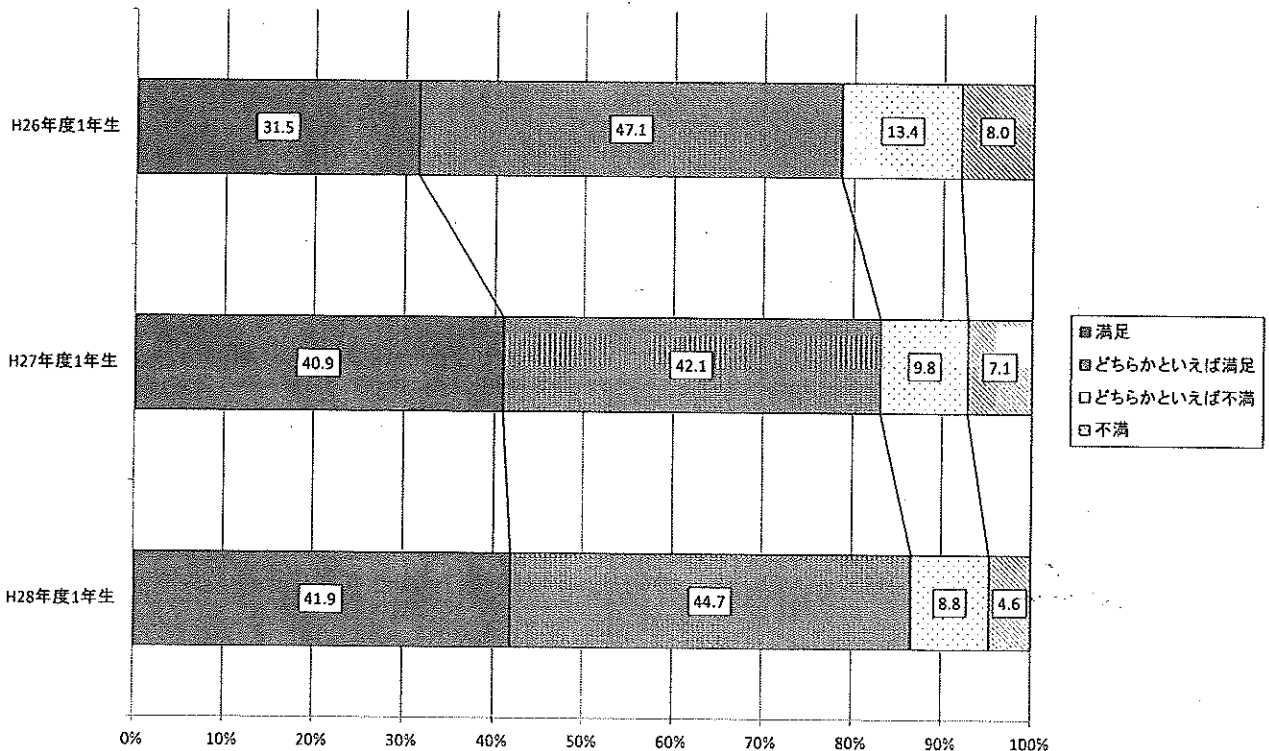


ICTを利用した授業の満足度(生徒)

平成26年度～平成28年度 1年生比較

【問】 ICTを利活用した各教科の授業に満足していますか。

(H27年3月末、H28年3月末、H29年2月末調査)

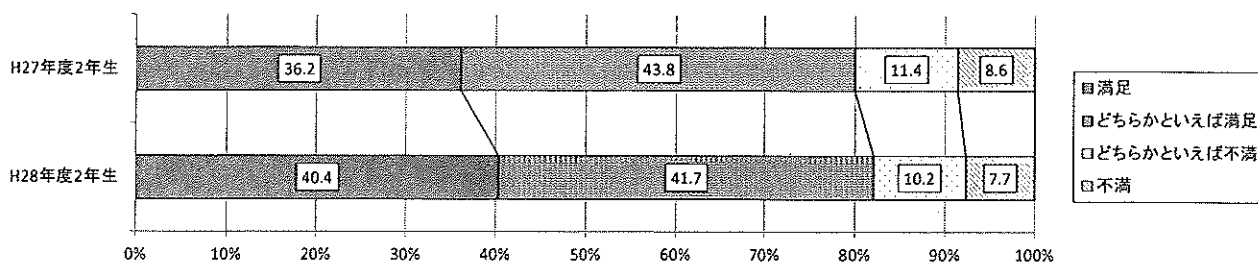


## ICTを利用した授業の満足度(生徒)

平成27年度、平成28年度 2年生比較

【問】ICTを利活用した各教科の授業に満足していますか。

(H28年3月末、H29年2月末調査)

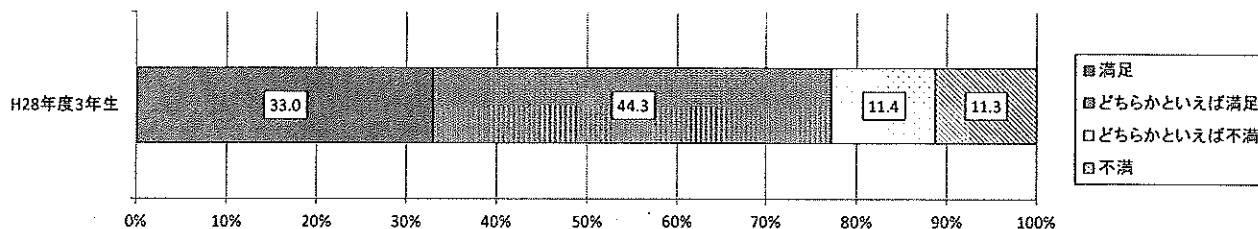


## ICTを利用した授業の満足度(生徒)

平成28年度 3年生

【問】ICTを利活用した各教科の授業に満足していますか。

(H29年2月末調査)

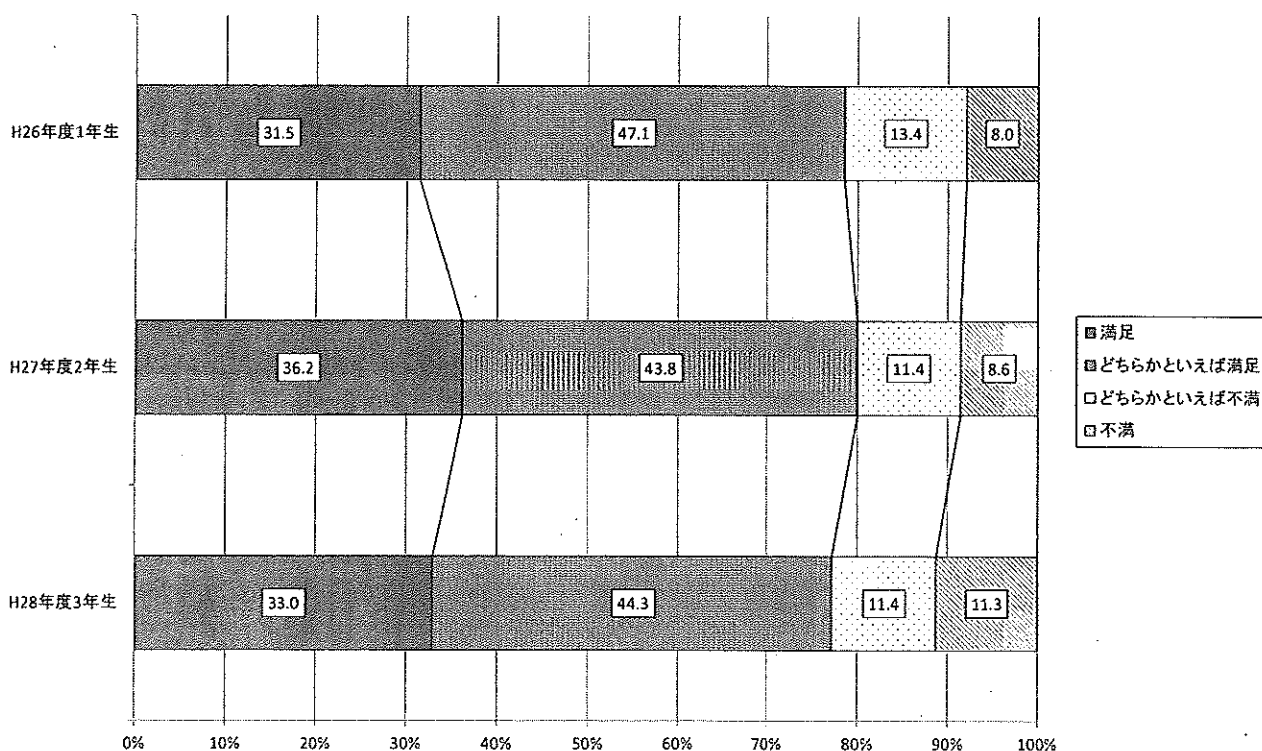


## ICTを利用した授業の満足度(生徒)

H26年度入学生 推移

【問】ICTを利活用した各教科の授業に満足していますか。

(H27年3月末、H28年3月末、H29年2月末調査)

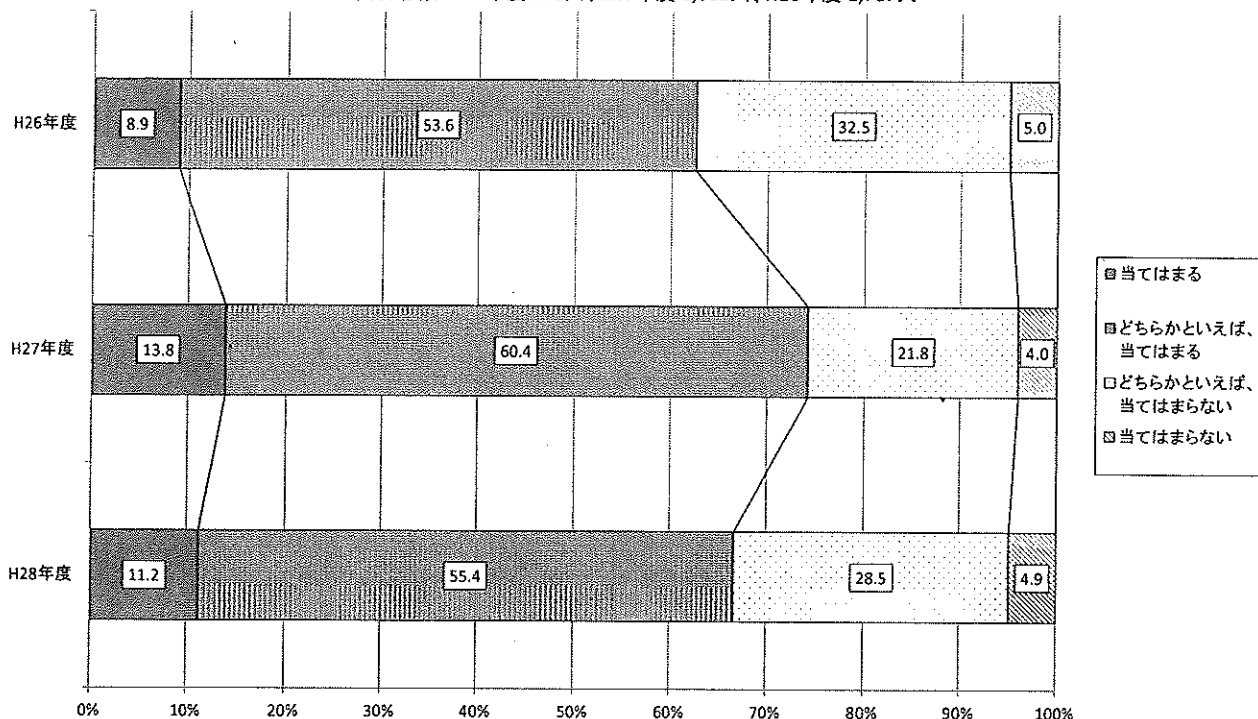


# ICT利用に関する教員の満足度(県立高校)

平成26年度～平成28年度 推移

【問】 学校で、ICTを利活用できるようになったことに満足している。

調査時期：H27年3月末、H28年3月末、H29年2月末  
 回答者数：H26年度 848人、H27年度 1,611人、H28年度 1,787人

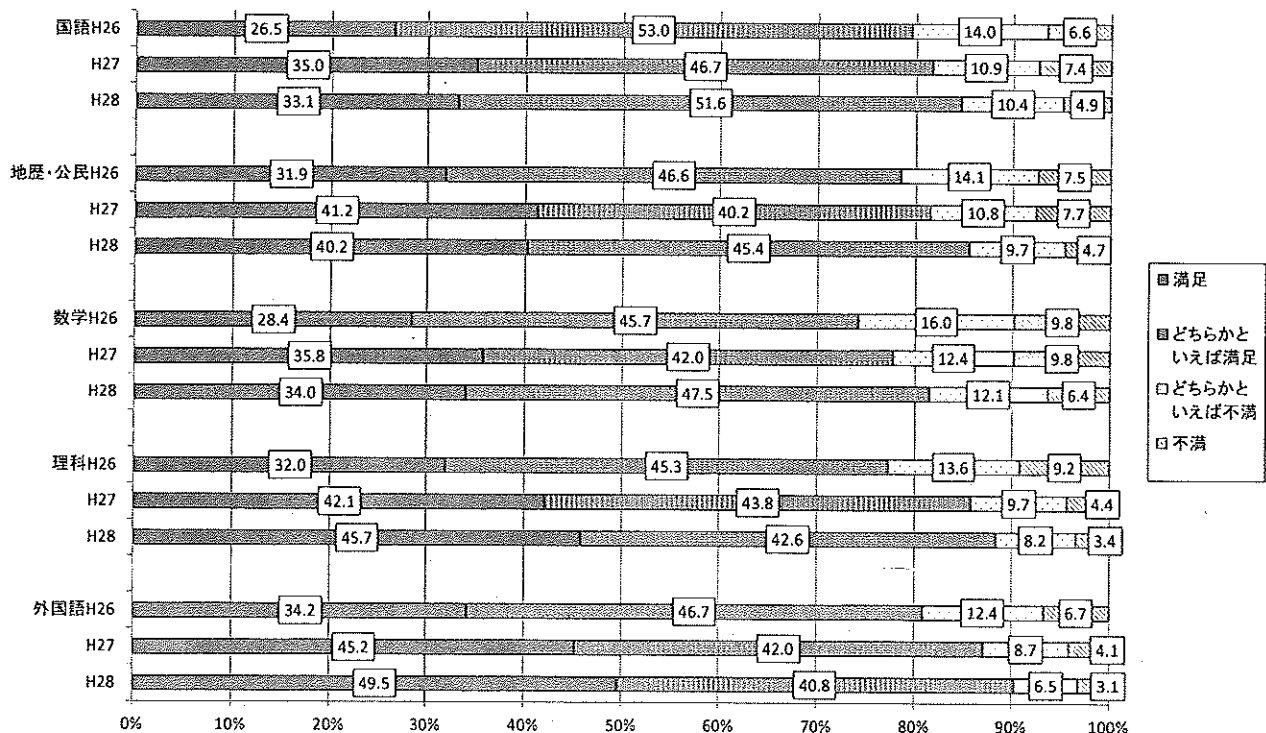


# ICTを利活用した授業の満足度(教科別)

平成26年度～平成28年度 1年生比較

【問】 ICTを利活用した各教科の授業に満足していますか。

(H27年3月末、H28年3月末調査、H29年2月末調査)





## 生徒・保護者の必要性・効果の認識等について

## 平成28年度 教科指導におけるICT利活用に関する教職員の意識調査

## 電子黒板

## ○ 電子黒板利活用について

- ・年間を通じて「十分活用できた」が73.8%、「あまり活用できなかった」が26.2%。この数値は、前回調査（平成26年度調査）と比較すると、「十分活用できた」が6.9%増となる。
- ・教科別に見ると、「十分活用できた」の数値が高い順に、英語93.9%、理科85.0%、公民82.9%、保健体育82.2%となる。
- ・逆に「十分活用できた」の数値が低い教科は、芸術17.5%である。

## ○ 電子黒板活用時の学習過程について

- ・全体集計から見ると、導入が29.2%、展開が66.9%、まとめが3.9%
- ・教科別に見ると、以下の3教科が特徴的である。  
 芸術が、導入60.0%、展開40.0%、まとめ0%  
 地歴が、導入15.0%、展開82.0%、まとめ3.0%  
 情報が、導入41.7%、展開33.3%、まとめ25.0%

## ○ 電子黒板を「あまり活用できなかった」理由について

物理的な環境の問題	34.8% (前回比8.9%減)
操作スキルの問題	8.4% (前回比3.8%減)
教材の問題	22.0% (前回比0.8%増)
授業構想力の問題	18.9% (前回比3.8%増)
その他	15.9% (前回比8.2%増)

## 教科毎に見ると

- ・物理的な環境の問題では、芸術が100.0%、家庭68.4%と高い。
- ・操作スキルの問題では、農業が50.0%と高い。
- ・教材の問題では、公民と数学が33.3%、地歴が32.1%と高い。
- ・授業構想力の問題では、国語38.0%、公民33.0%と高い。
- ・その他では、商業34.2%、国語30.0%と高い。

※商業では、「専門高校では、2、3年では実習が多くなる」が主な理由である。

※国語では、「1年生では、古典文法や英文法の提示が多かったが、2、3年生になると、長い文章を読ませないといけないため、字数が多くなると字が小さくて見えづらい」が主な理由である。

## ○ 電子黒板活用時の学習形態について

- ・一斉学習94.5%、個別学習2.8%、協働学習2.7%
- ・この傾向は、教科別に見ても差異は見られない。

## ○ 電子黒板を活用する目的について

知識・理解を深める	52.0% (前回比3.8%増)
表現力を高める	0.7% (前回比1.3%減)
思考を深める	5.8% (前回比0.3%増)
説明・発表を支援する	14.1% (前回比3.4%増)

繰り返し練習する	2.6% (前回比0.5%減)
関心・意欲を高める	23.0% (前回比5.0%減)
その他	1.8% (前回比0.6%減)

・教科別に見ると、以下の教科で特徴が表れている。

- ※「知識・理解を深める」では、農業が63.6%、芸術が62.5%と高い。
- ※「説明・発表を支援する」では、情報が33.3%、数学が23.1%と高い。
- ※「関心・意欲を高める」では、福祉が50.0%と高い。

### 学習用パソコン

#### ○ 学習用パソコン利活用について

- ・年間を通じて「十分活用できた」が28.6%、「あまり活用できなかった」が71.4%。この数値は、前回調査（平成26年度調査）と比較すると、「十分活用できた」が6.8%減となる
- ・教科別に見ると、「十分活用できた」の数値が高い順に、芸術65.5%、福祉60.0%、家庭56.7%、情報52.9%となる。
- ・逆に「十分活用できた」の数値が低い教科は、数学19.3%、地歴18.0%である。

#### ○ 学習用パソコン活用時の学習過程について

- ・全体集計から見ると、導入が19.4%、展開が62.4%、まとめが18.2%
- ・教科別に見ると、以下の3教科が特徴的である。  
 芸術が、導入44.4%、展開52.8%、まとめ2.8%  
 家庭が、導入8.8%、展開73.5%、まとめ17.6%  
 農業が、導入25.0%、展開33.3%、まとめ41.7%

#### ○ 学習用パソコンを「あまり活用できなかった」理由について

操作スキルの問題	10.5% (前回比3.7%減)
教材の問題	15.1% (前回比7.5%減)
ネット環境	1.4% (前回比4.2%減)
機器トラブル	7.7% (前回比2.2%減)
授業構想力の問題	36.7% (前回比5.1%増)
教師の指導力の問題	14.2% (前回比8.0%増)
その他	14.3% (前回比4.3%増)

#### 教科毎に見ると

- ・操作スキルの問題では、福祉が33.3%と高い。
- ・教材の問題では、芸術が26.1%と高い。
- ・ネット環境では、家庭7.4%と高い。
- ・機器トラブルでは、情報20.0%、家庭14.8%と高い。
- ・授業構想力の問題では、保健体育45.4%、理科44.5%、数学44.0%、国語43.1%と高い。
- ・教師の指導力問題では、情報70.0%、福祉33.3%と高い。
- ・その他では  
 ※商業では、「パソコン教室を使った実習が多いため」が主な理由である。

「十分活用できた」の数値が低い教科の主な理由については、以下の結果であった。

- ・数学…授業構想力の問題44%、教材の問題18.1%、教師の指導力の問題10.8%



・地歴…授業構想力の問題 39%、教材の問題 16.5%、教師の指導力の問題 15.7%

○ 学習用パソコン活用時の学習形態について

- ・一斉学習 43.2%、個別学習 47.4%、協働学習 9.4%
- ・教科毎に見ると、以下の教科で特徴が表れている。

※一斉学習では、福祉が 83.3%、地歴が 60.9%と高い。

※個別学習では、家庭 71.4%、情報が 66.7%、外国語が 55.8%と高い。

※協働学習では、農業が 23.1%、外国語が 19.2%と高い。

○ 学習用パソコンを活用する目的について

知識・理解を深める	36.9% (前回比 7.1%減)
表現力を高める	10.6% (前回比 3.8%増)
思考を深める	10.6% (前回比 0.2%減)
説明・発表を支援する	13.3% (前回比 4.1%増)
繰り返し練習する	11.8% (前回比 2.4%減)
関心・意欲を高める	14.0% (前回比 5.4%増)
その他	2.9% (前回比 3.6%減)

- ・教科別に見ると、以下の教科で特徴が表れている。

※「知識・理解を深める」では、商業が 56.7%、地歴が 56.5%と高い。

※「表現力を高める」では、福祉が 33.3%、農業が 25.0%と高い。

※「思考を深める」では、情報が 30.0%、国語が 21.6%と高い。

※「説明・発表を支援する」では、外国語が 22.0%、情報が 20.0%と高い。

※「繰り返し練習する」では、数学が 29.7%、外国語が 28.0%と高い。

※「関心・意欲を高める」では、公民が 40.0%と高い。

○ 授業構想力を抱える教師が望んでいる研修

授業研修会	15.4% (前回比 8.1%増)
実践事例紹介	60.2% (前回比 12.5%増)
機器操作	7.5% (前回比 22.3%減)
トラブル対応	0% (前回比 2.0%減)
教材作成	6.3% (前回比 2.3%減)
その他	10.6% (前回比 6.0%増)

○ 学習用パソコンを利活用した授業構想力を高めるための今後の研修

1 教科別授業研修会

平成 28 年度は、普通教科（国語、数学、英語、地歴公民、理科）の教科別授業研修会を各教科 2 回行ったが、平成 29 年度は、専門教科（農業、工業、商業、家庭）にまで拡大して実施する。

2 指導主事による訪問研修

- ・平成 28 年度に引き続いて、教科毎に県内実践事例紹介を行う。
- ・平成 28 年度に引き続いて、校内授業研修会の支援を行う。
- ・推進チームで作成したモデル指導資料をもとに自作教材作成の支援を行う。

3 基本操作研修

学習用パソコン、電子黒板、授業支援ソフト、SEI-Net 等、授業を行ううえで必

要となる機器操作の研修を行う。

対象者：育児休暇等、学校現場を暫く離れていた教員  
再雇用教員、講師、新規採用教員等

## 生徒・保護者の必要性・効果の認識等について

### ●今年度の取組

#### (1) 中学校説明会

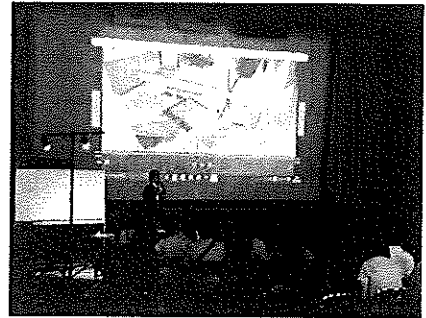
- 目的：中学3年生の保護者及び生徒に対し、県が進めるICT利活用教育について説明し、県立高校における学習用パソコンを利活用した教育の目的と必要性についての理解を促すことを目的として実施
- 期 日：平成28年9月～12月
- 内 容：県内の中学校を直接訪問し、県立高校での学習用パソコンを利活用した教育の様子を、写真や動画を中心とするプレゼンテーション映像で説明。

・訪問校数：86校

・参加者数：12,454名

生徒：5,322名 保護者：6,662名

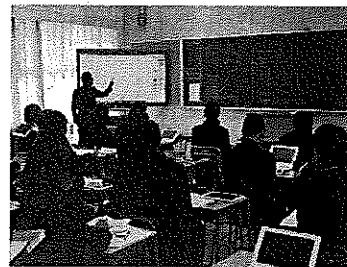
中学校教職員：470名



#### (2) 学習用パソコン操作体験会

- 目的：県立高校への進学を希望している生徒及び保護者を対象として、学習用パソコンを利活用した学習を体感していただくことを目的として実施

- 期日：11月26日（土） ●会場：致遠館高校
- 11月27日（日） 武雄高校
- 12月 3日（土） 有田工業高校
- 12月 4日（日） 唐津南高校
- 12月10日（土） 鳥栖商業高校



- 内容：県立学校で使用している機種と同じような機能を持つ学習用パソコンを使って、高校の体験授業等を実施。
  - 学習用パソコン操作説明
  - 朝のホームルーム体験
  - 学習用パソコンを使った授業（国語、数学、英語）
  - アンケート（SEI-Netアンケート機能）
- ・参加者数：189名
- ・参加者の声：「県立高校で行われているICTを利活用した授業を実感することができた。」（生徒）

### (3) 学習用パソコン通信

- 目的：県内の公立学校教員及び県立学校への進学を考える中学生及びその保護者に対し、県立学校での学習用パソコン等を活用したICT利活用教育等について、分かりやすく紹介するために配布

- 内容：第1号（H28.10発行）

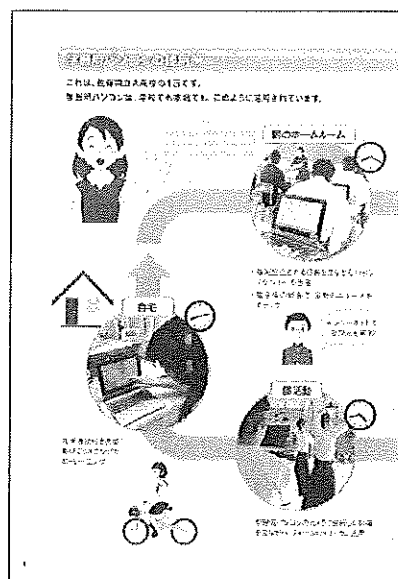
「佐賀県が進める教育の情報化の取組」

- ・学習用パソコンの使用例
- ・ICT利活用教育の取組の背景と目的など

第2号（H29.2発行）

「学習用パソコン購入手続等について」

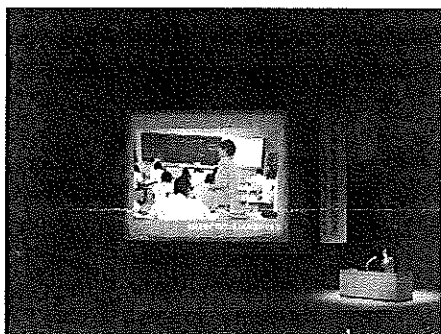
- ・購入手続きについて
- ・補助金、貸付制度についてなど



【H28 第1号から】

### (4) 平成28年度佐賀県 I C T利活用教育フェスタ (兼 第42回全日本教育工学協議会全国大会（佐賀大会）)

- 目的：教育関係者に限らず、保護者や一般の方々も対象に、佐賀県が全県規模で取り組んでいる教育の情報化の進捗状況等の報告を行うとともに、教育の情報化に関する国の取組について全国に発信することで、県内外における教育の情報化の一層の推進を図るために開催
- 期日：平成28年10月14日（土）、15日（日）
- 会場：佐賀市文化会館 他
- 内容：1日目
  - ・公開授業
  - ・基調講演
  - ・教職員による指導事例発表
  - ・機器展示2日目
  - ・教科における指導事例発表
  - ・ICT利活用教育推進に関する県教育委員会の取組
  - ・文部科学省「先導的な教育体制構築事業」成果発表
  - ・機器展示



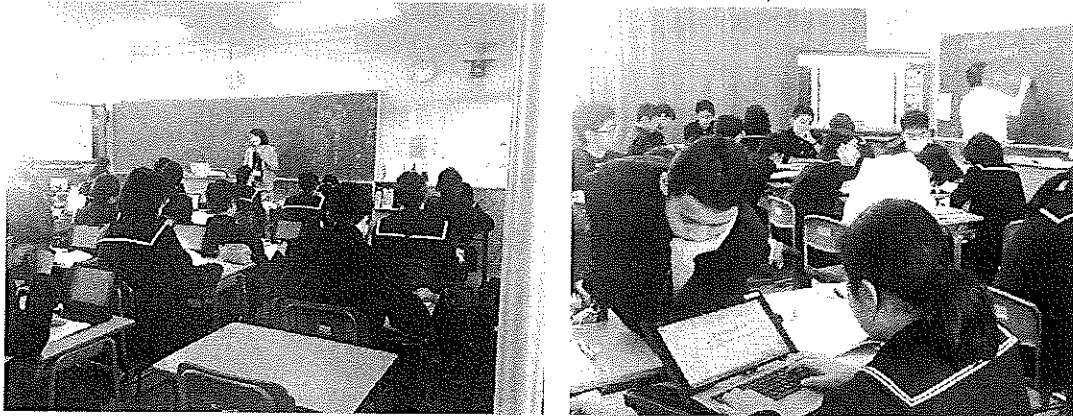
・参加者数：1,928名

・参加者の声：

「佐賀県内の教育、授業の方法が確実に変化してきていることが実感できた。」（一般）  
「ICTを有効に活用し、子供の興味関心を高めたり理解を深めたりするための工夫がなされていることが分かった。」（一般）

## (5) 平成28年度ICT利活用教育の推進に係る授業公開の実施

- 目的：保護者や一般の方々などを対象に、県立学校におけるICT利活用教育の状況等を広く公開し、同教育への理解の促進を図るために、各学校において実施
- 期日：平成28年10月～12月
- 内容：県内の全県立学校において、電子黒板や学習用パソコンなど、ICTを活用した授業を各教科等で公開。
  - ・参観者数：759名



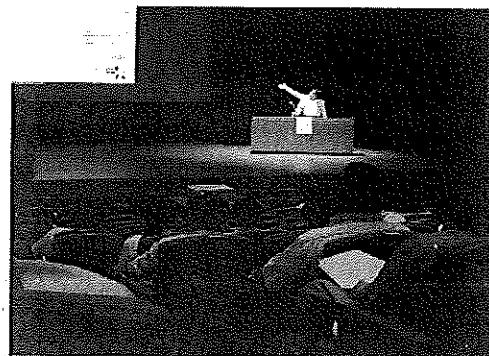
## (6) プレゼンテーション研修会

- 目的：教職員及び生徒の情報発信力の育成や、効果的なプレゼン資料作成スキルの習得などを目的として実施
- 期日：平成28年8月9日（火）
- 会場：佐賀市文化会館
- 内容：ICTを活用したプレゼンテーションの第一人者を講師に招き、「人生を豊かにするプレゼンテーション能力を身につけよう」と題して、生徒及び保護者向けの講演を実施。

・参加者数：312名

・参加者の声

「昨年のプレゼンテーション大会では悔しさが残ったが、この研修会に参加して、自分に足りない部分を見つけることができた。大ホールで発表ができるように自分のプレゼンを磨いていきたい。」（生徒）



## (7) 高校生ICT利活用プレゼンテーション大会

- 目的：高校生のICTへの関心や情報活用能力を高めるため、日頃の成果を発表する場、また、高校生ならではの視点で情報発信を行う場として開催
- 期日：平成28年12月18日（日）
- 会場：佐賀市文化会館
- 内容：授業や特別活動などで学んだことから発表内容を設定し、生徒各自が学習用パソコンなどで、発表資料を作成。今年度は、予選を通過した10の個人及びグループが本大会に出場。

・参加者数：365名

・参加者の声

「どの学校も色々なテーマで様々な工夫がされていて、聞くのがとても楽しく面白かった。他の学校に負けないようにプレゼンテーション力を身に付けたい。」（生徒）

